

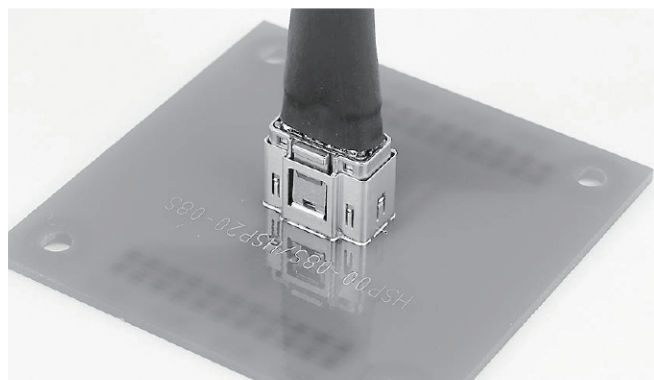
2024年(令和6年)7月17日(水曜日)



出展紹介 ケル

ケルは「CASE」社は「人とくるまのテクノロジー」展 2024「高速通信・高耐熱・耐振動」をテーマとし、これらの車載向け新コンセプト製品の開発を強化している。同

新規コンセプト品で



HSPシリーズ

は、開発中のPCIe 5.0相当の高速通信対応基板対応基板上に「JBシリーズ」を紹介する。統合ECU向けに開発を進めている製品で、32ギガbps相当の高速通信に対応、最大80Aの電源を供給できる。

中身の「耐振動と140度耐熱を兼ね備えた基板対応基板上に」を紹介する。さらに、ブース内のアイランドゾーンでは、統合ECUを想定

高速通信・高耐熱・耐振動がテーマ

車載向け新コンセプト製品

したラックシステム「統合ECUラック」を初出品する。統合ECU化が進む自動車業界のニーズに合わせ、JBシリーズ・ライトアングルタイプと統合ECUラックを組み合わせたかたちでの提案を行う。

このほか、次世代高速要求に対応する224ギガbps (PAM4) 差動伝送ケーブル用コネクタ「HSPシリーズ」(開発中) も紹介する。

フロアティングコネクタは、「DYシリーズ」「DTシリーズ」、電源端子付き「DTEシリーズ」、シェル付きタイプ「DTSシリーズ」などの豊富なラインアップを紹介する。

今回の展示会では、今年5月に開催された「人とくるまのテクノロジー」展 2024 YOKOHAMAからブースレイアウトを変更し、より開放的に見やすいブースとした。配色もSDGsを意識したカラーデザインを施している。